

# ふくしま オーガニック通信



～オーガニック・ランドふくしまをつくろう～



R5-1 令和5年6月15日

福島県農業総合センター

有機農業推進室

福島県郡山市日和田町高倉

字下中道 116 番地

TEL 024(958)1711 FAX 024(958)1730

Email : yuuki\_otasuke\_soudan@pref.fukushima.lg.jp

「有機農業推進担当職員が新しくなりました」

農業総合センター 有機農業推進室

令和5年度の新たな有機農業推進体制をお知らせします。

今後もより一層力を入れて、福島県の有機農業を推進して参りますので、どうぞよろしくお願いたします。

所 属	職 名	氏 名	担 当
農業総合センター 有機農業推進室	室長	岡崎 徹哉	総括
	主任主査	赤塚 康雄	中通り普及（作物）
	(新) 主任研究員	根本 和俊	試験研究
	副主任主査	齋藤 成一郎	中通り普及（野菜）
会津農林事務所	(新) 主査(キャップ)	桑名 篤	会津普及
相双農林事務所 双葉農業普及所	主任主査	高津 颯一	浜通り普及
環境保全農業課	(新) 主任主査	中山 秀貴	有機農業担当
	(新) 主査	大竹 裕規	有機栽培

現地技術実証ほ紹介

「現地技術実証ほを県内に6ヶ所設置しました」

農業総合センター 有機農業推進室

各地域の実態を踏まえた有機農業に関する技術の実証と確立を図るため、現地技術実証ほを県内に6ヶ所設置しました。

【令和5年度 現地技術実証ほ一覧】

市町村	品目	内容
郡山市	野菜	スイートコーン有機栽培における、耕種的防除を組み合わせたアワノメイガの適期防除の実証
福島市	水稻	「福, 笑い」の有機栽培における栽培特性把握
猪苗代町	野菜	太陽熱養生処理による土壌物理性・化学性の改善効果の定量評価
会津美里町	水稻	水稻有機栽培における自動抑草ロボットの抑草効果
檜葉町	野菜	夏秋ナス有機栽培における反射資材活用による害虫対策の実証
いわき市	水稻	「福, 笑い」の有機栽培実証

## 現地技術実証ほ紹介①

「スイートコーン有機栽培における、耕種的防除を組み合わせたアワノメイガの適期防除の実証」

農業総合センター 有機農業推進室

スイートコーンの有機栽培では、アワノメイガの食害による品質・収量の低下が問題となっています。

そこで、アワノメイガによる被害抑制を目的とした実証ほを郡山市大槻町に設置し、B T剤散布と耕種的防除を組み合わせた体系防除の実証ほを設置し、被害の抑制効果と有機栽培スイートコーンの生産の向上を検証します。



実証ほを設置したスイートコーン畑



スイートコーン栽培において問題となるアワノメイガ

## 現地技術実証ほ紹介②

「福, 笑い」の有機栽培における栽培特性把握

農業総合センター 有機農業推進室

県オリジナル米「福, 笑い」については、中通りでの有機栽培事例は少なく栽培上の特性は明らかにされていないことから、昨年度に続き本年度も有機栽培「福, 笑い」実証ほを設置し、調査を通じて今後の普及に向けた生育の把握を行っていきます。

田植えを5月13日に実施、田車による1回目の機械除草を5月27日に実施しました。

今後は雑草の生育状況を見た上で、6月下旬に2回目の除草を予定すると共に、手取り除草も行う予定です。



水田除草機による除草作業



除草後の実証ほ

### 現地技術実証ほ紹介③

#### 「太陽熱養生処理による土壌物理性・化学性の改善効果の定量評価」

会津農林事務所 農業振興普及部

磐梯町では有機栽培の技術のひとつであるBLOF理論に基づいた栽培方法に取り組んでいます。この理論では土づくりに力を入れており、土壌物理性を整え、作物を健康に育てることで、高品質・多収穫が可能になると言われています。その土作りの技術として「太陽熱養生処理」があり、太陽熱と微生物の働きにより土壌の団粒化が促進されて根張りの改善や有用微生物の増殖による病気の発生抑制などが期待できます。実証ほでは太陽熱養生処理による土壌の物理性や化学性の変化、処理ほ場に植え付けたトマトの生育を観察し、効果を検証します。



処理前の土壌硬度の測定

### 現地技術実証ほ紹介④

#### 「水稲有機栽培における自動抑草ロボットの抑草効果」

会津農林事務所 農業振興普及部

会津地域の水稲有機栽培では、様々な水田除草機が活用されています。特にここ数年、自動抑草ロボット(アイガモロボ)に注目が集まっています。アイガモロボは入水後の水田を自動で航行し、スクリーンにより水の濁りを発生させることで、雑草の光合成を抑制する環境を作り出し、抑草する仕組みです。また、トロトロ層を形成し、雑草種子を埋没することで、出芽抑制効果も期待されます。

今年度はこのアイガモロボを現地実証ほに取り上げ、抑草に効果的な使い方、乗用管理機との組み合わせを探るとともに、どのくらい省力されるのかを検証します。



自動航行するアイガモロボ

## 現地技術実証ほ紹介⑤

### 「夏秋ナス有機栽培における反射資材活用による害虫対策実証」

相双農林事務所 双葉農業普及所

浜通り地方では園芸品目の有機栽培に取り組む農業者が少ない状況です。

本実証は前年度からの継続で2カ年目となり、引き続き檜葉町の「よっちゃん農園（猪狩義久さん）」に協力をいただきました。

ナスは直売所や小売店でも人気のある果菜類であり、長期間出荷が可能な品目ですが、生育期間において特に虫害が課題となっています。そこで、ナス（品種：千両2号 台木トルバム）を作付けし、シルバーマルチ「オークラ防虫・雑草抑草マルチシルバーSS」、シルバーテープ「サンビーム防虫シルバー」の活用によるアブラムシ類を中心とした害虫の忌避効果を確認し、園芸品目ナスの有機栽培技術の体系化を目指します。



オークラ防虫・雑草抑草マルチ  
(シルバーSS)



サンビーム防虫シルバー

## 現地技術実証ほ紹介⑥

### 「福、笑い」の有機栽培実証

相双農林事務所 双葉農業普及所

浜通り地方の水稻有機栽培の品種は「コシヒカリ」が中心となっていますが、有機農業者からは県オリジナル品種「福、笑い」の有機栽培について要望があがってきています。

「福、笑い」は、福島県産米のトップブランドとして厳しい品質基準が設けられており、慣行栽培向けの栽培基準はあるものの、有機栽培の基準がなく、浜通り地方での有機栽培における生育の特徴は明らかになっていません。

そこで、浜通り地方での普及拡大を目指して、いわき市で有機栽培に取り組んでいる遠藤さんにご協力をいただき、久之浜地区に実証ほを設置しました。今年度、収量・品質等のデータを収集することで、浜通り地方の有機栽培における「福、笑い」の適応性を確認していく予定です。



実証ほの看板



5月22日「福、笑い」田植え

## 試験研究

「対抗作物等を利用した持続的な有機野菜栽培技術の開発試験を進めています」

農業総合センター 有機農業推進室

有機農業推進室では、新たな有機露地野菜栽培における病害虫対策として、対抗作物等との輪作、間作による病害虫の被害軽減効果を明らかにするとともに、本県気象条件に適した作型、栽培体系を開発する試験を進めています。本年度試験では、対抗植物（マリーゴールド、エンバク）とニンジンとの輪作による線虫被害の抑制効果を検証します。



マリーゴールド「エバーグリーン」



エンバク野生種「ヘイオーツ」

## 普及コラム①

「郡山市で有機農業を営む有限会社ニッケイファームを紹介します」

農業総合センター 有機農業推進室

郡山市大槻町の（有）ニッケイファームでは、無農薬・無化学肥料での野菜作りにこだわり、年間約 100 種類もの作物を生産されています。また、小学生等を対象とした農業体験学習や、中通りの有機農家さんと共同で C S A（地域支援型農業）を行うなど、食を通じて持続可能な地域づくりを目指すことを目的とした活動にも熱心に取り組んでいます。

同社の代表である大竹さんは、「ドローンや A I を駆使した農業が推進される昨今だからこそ、同じ志を持った仲間とともに汗を流しながら、環境に配慮した農業を行うことで、地域の農業を守っていききたい」と話していました。

人柄の良い大竹さんと会話することで、「オーガニック」を理解する切っ掛けが得られると思いますので、是非とも「ニッケイファーム」の直売所へお立ちよりください。

※「ニッケイファーム」直売所：郡山市大槻町原田 5 - 4



直売所内に陳列された有機農産物



代表の大竹 秀世さん

## 普及コラム②

### 「環境にやさしい農業田植え体験学習会が開催されました！」

会津農林事務所 農業振興普及部

5月24日（火）に磐梯町更科地区において磐梯町立磐梯第一小学校5学年生21名を対象とした、環境にやさしい農業田植え体験学習会が開催されました。

当日は、磐梯町が組織する「磐梯町農産物ブランド化推進会議」と有機栽培や特別栽培に積極的に取り組む生産者組織「磐梯町環境保全農業の会」の全面協力により実施されました。

初めに乗用田植機による移植作業を児童に見てもらった後、手植えを体験してもらい、その後、会津農林事務所有機農業担当より、稲の生育や環境保全型農業について説明しました。児童からは活発な質問が出され、「磐梯町環境保全農業の会」のメンバーが丁寧に答えました。

当日は爽やかな好天に恵まれ、久しぶりの体験学習に児童たちの笑顔がこぼれ、環境保全型農業を学ぶ、すばらしい機会となりました。



磐梯町環境保全農業の会のメンバー



手植え体験

## 普及コラム③

### 『農事組合法人あいアグリ太田が有機 JAS 認証を取得しました！』

相双農林事務所 双葉農業普及所

「農事組合法人あいアグリ太田」は、震災からの本格的な営農再開と地区営農の活性化に意欲を燃やすメンバー7名が集まり、平成29年2月1日に設立され、南相馬市原町区の太田地区を拠点に、水稻を主体にタマネギ・大豆・花きを作付しています。

メンバーの1人が有機栽培に取り組んでいましたが、震災で中断を余儀なくされました。地区で平成28年から始まった基盤整備を契機として、法人としても水稻有機栽培に取り組むこととなり、令和5年3月に有機 JAS 認証を取得しました。

アイガモロボット実証や、地元小学校の田植えや稲刈りの作業体験と収穫した米の実食など、新技術の実証や食育にも積極的に取り組み、SNS で情報発信しています。



あいアグリ太田の皆様



5月24日、小学校田植え体験

## イベント情報

### ○第16回 農業総合センターまつり

本部会場【9月1日（金）9：30～16：00、9月2日（土）9：30～15：00】

果樹試験場【9月8日（金）10：00～15：00】

皆さんお待ちかね！！センターまつり（本部会場）は、9月1日（金）、2日（土）に開催いたします！

本部会場では、カボチャや枝豆の収穫体験やキッチンカーの設置をはじめ、ガラポン抽選会や家庭菜園向けセミナー等の企画が満載です。また、県内事業者に向けて、農業機械・資材コーナー等への出展も募集しておりますので、奮ってご参加ください。

詳しい内容は、農業総合センターホームページに掲載されていますので、ご覧ください。

農業総合センター

（HP）<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200a/maturi.html>



「有機農業」に関するミニ講座の様子



「センターツアー」の様子

↑昨年実施したイベントで、今年も実施します↑

### ＜お知らせ＞

「令和5年度環境にやさしい農業拡大推進事業」及び「令和5年度ふくしま有機農業ひとつくり強化支援事業」について

環境保全農業課

#### 1 令和5年度環境にやさしい農業拡大推進事業

有機JAS認証等の取得や生産安定・生産拡大に必要な施設・機械の導入を支援します。

##### (1) 有機JAS認証等拡大推進事業

有機JAS認証等の新規認証又は継続認証に要する費用を支援します。

【補助率】①有機JAS認証取得（新規）：3／4以内

②有機JAS認証取得（継続）：1／2以内

③福島県特別栽培農産物認証取得（新規）

：3／4以内

④有機JAS小分認証の新規取得に必要な施設の整備

：1／2以内（上限200万円）

⑤有機JAS小分認証（新規）：定額（上限30万円）

##### (2) 環境にやさしい農産物供給体制の整備

農業者2戸以上で構成する組織等が有機農産物等の生産拡大や出荷安定化に向けて、共同で利用する施設・機械を導入する経費を支援します。

【補助率】1／2以内（上限1,000万円）

## 2 令和5年度ふくしま有機農業ひとづくり強化支援事業

(令和3年度～令和5年度)

有機農業による就農者の確保及び就農支援活動、有機農業の実践的な研修体制の整備等を支援します。

### (1) チャレンジふくしま有機農業推進事業

有機農業の組織等が実施する有機農業の新たな担い手確保及び就農支援活動等に要する費用を支援します。

【事業主体】有機農業者が構成する組織、市町村、団体等

【補助率】2/3以内(上限100万円)

### (2) チャレンジふくしま有機農業就農研修支援事業

就農研修者を受入れる農家が、有機農業の実践的な研修を実施するために必要な整備及び運営経費を支援します。

【事業主体】有機農業者が構成する組織及びこれに属する農業者、市町村、団体等

【補助率】2/3以内(上限200万円)

## 3 令和5年度みんなでチャレンジ！環境保全型農業拡大事業

環境保全型農業技術の導入・技術向上・励行に取り組む農業者組織の支援及び環境保全型農業のコンテスト開催や成果の広報等を行うとともに、環境保全型農業の推進・支援体制づくりや地域ぐるみで行う活動を支援します

### (1) 環境保全型農業チャレンジ！事業

環境保全型農業に取り組む生産者組織等に対して、地球温暖化対策に効果が高い技術の励行や向上に必要な経費の一部を助成します。また、環境保全型農業のコンテストを開催し、地球温暖化対策に効果が高い技術や取組に関する表彰及び優良事例の公表等を行います。

【事業主体】JA 部会、生産者組織 等(参加者に新規取得者を含めること又は農法のステップアップをすること)

【補助率】1団体当たり [参加人数] × [※単価] の合計額

(上限50万円/団体)

(※単価：①エコファーマー同等：1万円/人、

②県特裁認証：2万円/人、

③有機JAS認証：10万円/人)

### (2) 環境保全型農業サポート体制整備事業

環境保全型農業の面的拡大を目的としたモデル地区における推進・支援体制の整備及び地域ぐるみの活動を支援します。

【事業主体】市町村、団体 等

【補助率】1/2以内(上限250万円)

詳細については、下記の農林事務所等へお問い合わせください。

#### 【問い合わせ先】

県北農林事務所 : 024 - 521 - 2604      県中農林事務所 : 024 - 935 - 1307

県南農林事務所 : 0248 - 23 - 1555      会津農林事務所 : 0242 - 29 - 5302

南会津農林事務所 : 0241 - 62 - 5253      相双農林事務所 : 0244 - 26 - 1147

いわき農林事務所 : 0246 - 24 - 6160

農業総合センター有機農業推進室 : 024 - 958 - 1711

農林水産部環境保全農業課 : 024 - 521 - 7453